



みんなで盛り上がりましょう！

センターライブ

北児童センター

3 / 25  
土

北児童センターでセンターライブが催され、日頃同センターで練習しているバンド6組が熱演しました。

トップを務めたのは、活動10年のベテランバンド『アクロバット少年』。全国ツアーもおこなっているそうで、女性ボーカリストのポップな歌声が会場を盛り上げました。

「久しぶりのライブにめちゃめちゃ緊張しました。でもすごく楽しかったです！」と本番後に答えてくれたのは『ストレイツォー』。緊張を思わせないような堂々とした演奏でした。

また、観客から飛び入り参加する場面もあり、とてもアットホームなセンターライブとなりました。



認知症になった波平

家族・地域で考える認知症予防

ほほえみプラザ

3 / 11  
土

中日新聞で「老いの風景」を長らく執筆していた渡辺哲雄さんを講師に、認知症予防についての講演会が開催され大勢の方が参加しました。

タイトルにあるように、『もし波平が認知症になったら、あの平和なサザエさん一家が崩壊を辿る』という架空のストーリーを何ともリアルにお話くださいました。先生の人柄もありユーモアに溢れたお話、さらに会場は終始笑いに包まれていました。

『認知症予防には2つの柱がある。一つは健康面。適度な運動と食事。そしてもうひとつは人と関わり合っ  
て脳に刺激を与えてやるのがとても効果的である。嫌な人がいても、認知症予防になっていると考え集まりに参加しよう』とのお話には、大きく頷いている参加者の姿が見られました。

「先生の体験など楽しくお話を聞  
けて心が少し軽くなりました」と介  
護経験のある参加者。「予防対策を聞  
けて今後の生き方を考えるきっかけ  
になりました」とご夫婦での参加者。

また認知症の人と家族を支えるた  
めの冊子『認知症ケアパス』が来場  
者へ配布されました。(詳しくは健康  
生きがい課へ)



▲楽器に触れ、音を出すこともできました



▲講師の村上知枝美さん

誰かの命は誰かの命とつながっている

ほほえみプラザ

3 / 18  
土

おおぐち男女共同参画懇話会・大口町主催の講座『誰かの命は誰かの命とつながっている ライアーの調べをききながら』が開かれました。映画『千と千尋の神隠し（いつも何度でも）』でもおなじみの「ライアー」は、ハーブに近い竖琴型の弦楽器で、優しい音色は心とからだを癒し音楽療法にも使われるほど。参加者は柔らかな心地よい音楽を聴き、後半は障がい者を育てる村上さんのお話を聞きました。「来てよかった。心が癒されました」と、参加者。



▲参加者と一緒に手話で「翼をください」を歌う村上さん



大口町太極拳協会 30周年記念交流会

町民会館

3 / 12  
日

昭和62年、大口町公民館講座から続く大口町太極拳協会が、今年で30周年を迎え、記念に交流会が開かれました。挨拶の後、全体演舞が始まると会場は静まり返り、約80名の会員の皆さんが一糸乱れず演舞しました。続いて師範診査がおこなわれ、後半は師家楊麻紗さんの講演会と続きました。「太極拳は心や体の健康に良いとされています。稽古をして健康を保ち、楽しく継続することが一番。35周年につなげていきたいです」と、会長の長谷川房子さん。

